

JA豊橋 自動車課

## 知つ得情報

みなさん、こんにちは!お車の調子はいかがですか?

6月といえば、外出が億劫になる季節のひとつ。雨の日が多く、外出先でも雨に濡れたくないで、なるべくお店に近い駐車場を探してしまいます。そんな時、車イスマークが表示された駐車スペースに停まったクルマから、健常者と思われる人が降りてくるのを見ると、梅雨空のようなすつきりしない気持ちになります。もちろん、見た目で判断してはいけないことは理解しているのですが…。今回は、ドライバーのモラルについて考えてみましょう。

### ドライバーのモラルについて



《国際シンボルマーク》

みなさん、このマークの意味を正しく理解していますか?

正式名称は「国際シンボルマーク」といい、障害を持つ人々が利用できる施設であることを示す世界共通のマーク。病院や商業施設のトイレなどでよく目にしますが、最近では施設の規模にかかわらず、駐車場にもこのマークが

表示され、専用の駐車スペースとして認知され始めています。この駐車スペースの設計基準には、「高齢者や障害者等の円滑な移動等に配慮したものであること」とありますし、

表示してある車イスマークから誰のための設備なのか、常識あるドライバーであれば判断できますよね。

しかし、一部の心無いドライバーが「急いでいるし、すぐに戻るから…」「雨が降っていて、近くに停めたかったから…」「他の駐車スペースが空いてなかったから…」など、自分勝手な理由から駐車してしまい、本来必要としている人が駐車できない現状があるようです。

こうした駐車場の利用については法律上の定めがありません。問われているのはドライバーのモラルです。「本当にそこへ停める必要があるのか」一度立ち止まって考えてみてください。おのずと答えは出るはずです。このクルマ社会はルールだけでなく、ドライバーひとりひとりの「思いやりの心」に支えられて成り立っているのですから…。